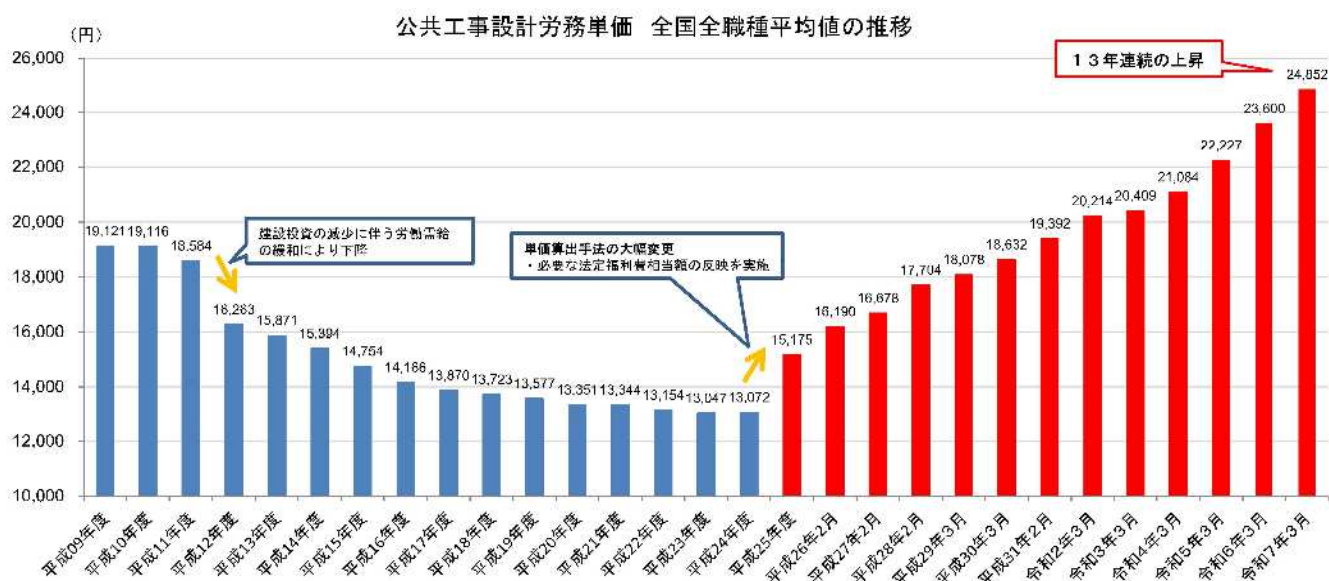


# 公共工事労務費調査の留意点

一般社団法人 鳥取県建設業協会

-1-

## 令和7年3月から適用する公共工事設計労務単価について



参考：近年の公共工事設計労務単価の単純平均の伸び率の推移

|        | H25    | H26   | H27   | H28   | H29   | H30   | H31   | R02   | R03   | R04   | R05   | R06   | R07   | H24比   |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 全 職 種  | +15.1% | +7.1% | +4.2% | +4.9% | +3.4% | +2.8% | +3.3% | +2.5% | +1.2% | +2.5% | +5.2% | +5.9% | +6.0% | +85.8% |
| 主要12職種 | +15.3% | +6.9% | +3.1% | +6.7% | +2.6% | +2.8% | +3.7% | +2.3% | +1.0% | +3.0% | +5.0% | +6.2% | +5.6% | +85.6% |

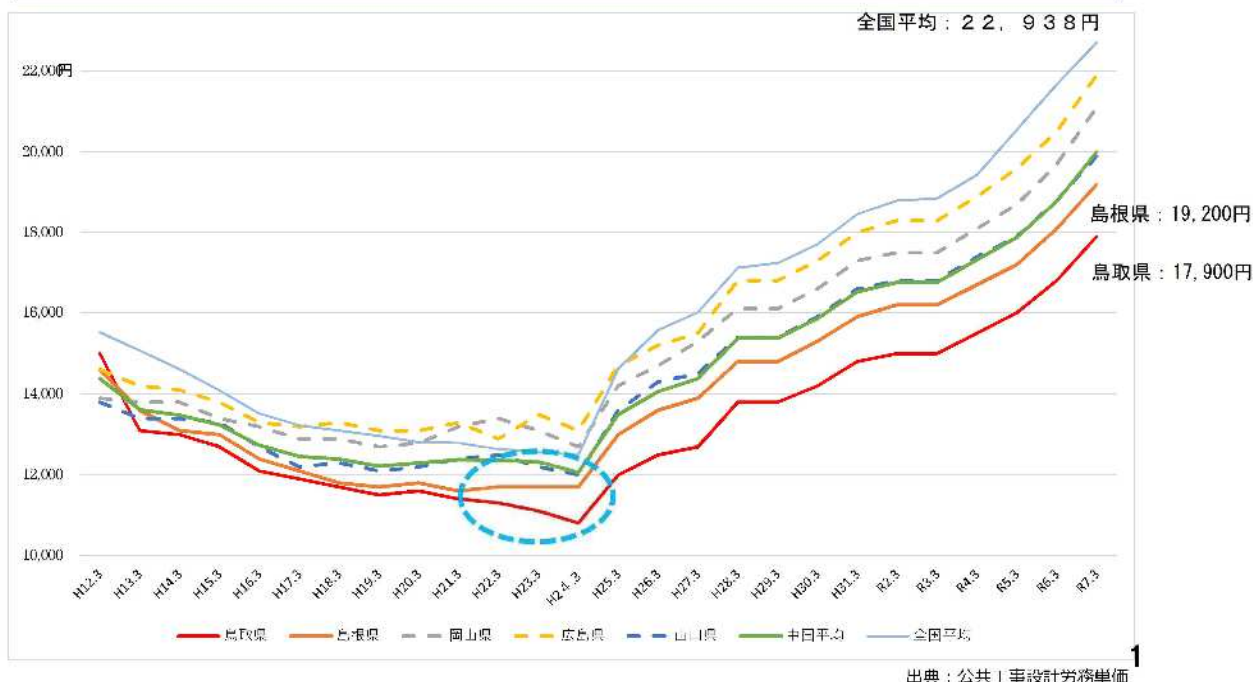
注1) 金額は加重平均値にて表示。平成31年までは平成25年度の標本数をもとにラスパイレース式で算出し、令和2年以降は令和2年度の標本数をもとにラスパイレース式で算出した。

注2) 平成18年度以前は、交通弱者賃金がA・Bに分かれていないため、交通弱者賃金A・Bを足した人数で加重平均した。

注3) 伸び率は単純平均値より算出した。

-2-

○平成24年3月以降は、鳥取県・島根県とも同様の単価上昇傾向にあるが、平成22～24年にかけての単価の下落幅が鳥取県が大きく、その影響が出ている。



-3-

## 鳥取県の公共工事労務費単価の問題点

# 普通作業員の単価が異常に安い

## 普通作業員の労務費単価の現状

鳥取県 17,900円 (全国最下位)

島根県 19,200円 (全国46位、下から2番目)

**差 額 1,300円**

1,300円の差がどのような問題点になるのか

月額で2万円以上、年収で30万円以上の収入の差  
(全国平均との差でなく、最下位から2番目との差)

⇒新規入職者の減、早期離職者の増

⇒深刻な人手不足

⇒建設業の衰退

-4-

- ▶ 逆に設計労務単価が上昇すれば、工事予定価格が上がり会社も儲かって、労働者の給料が上がる

- ▶ 我々にできる方策は何があるのか



公共工事労務費調査において  
適正な入力を行うこと

**単価の低い職種の人を単価の高い職種に誤って含めると設計労務単価が下がる恐れがあります。**

-5-

- ▶ 具体的にはどうすればいいのか



**方策：労務費調査で適切な職種を入力する**

- ▶ 会社での役職や職位にとらわれず、対象現場でどの職種の作業をしたかで職種を記入する。
- ▶ 会社では普通作業員であっても**年齢**（定年後の再就職）**性別**（一般的に女性のほうが力仕事には向いていない）**慣れていない仕事**で技能が低い（農閑期のアルバイトなど）等一定水準の技能及び肉体的条件を有していない場合は**軽作業員**として計上

-6-

## 適正水準

- ▶ 令和8年度の普通作業員単価は最低でも、全国で下から2番目の島根県と同等が望ましい
- ▶  $19,200\text{円} \times 1.05$ （ベースアップ） $= 20,160$   
 $\div 20,200\text{円}$ が適正だと思われる

<参考> 設計労務単価の20,200円はどのくらいの収入か

- ▶ 設計労務単価は、時間外除き、賞与込みの平均給与
  - 1) 日給で考えると
$$20,200\text{円} \times 0.828$$
（基本給の割合）
$$= 16,725\text{円}$$
  - 2) 月給（時間外含まない）
$$16,725\text{円} \times 21\text{日} = 351,225\text{円}$$
  - 3) 年収（時間外含まず、賞与含む）
$$20,200 \times 21 \times 12 = 5,090,400\text{円}$$

-7-

## 総括

- ▶ 会社での給与はあくまでも各会社の裁量です
- ▶ 今回、賃金の引き上げを要請するものではありません
- ▶ 労務費調査の職種の選定は、あくまで調査上の職種です
- ▶ 適正な労務費単価とするためには、適切に選択する必要があります
- ▶ 工事予定価格に直接的に影響しますので適切な職種の選定にご協力ください

令和8年度公共工事設計労務費単価の想定

1) 設計労務単価 (時間外含まない、賞与含む)

単位：円

| 職 種   | 鳥取県<br>令和7年度単価 | 島根県<br>令和7年度単価 | ベースアップ<br>想定伸び率 | 島根県<br>令和8年度想定 |
|-------|----------------|----------------|-----------------|----------------|
| 特殊作業員 | 22,900         | 23,200         | 1.05            | 24,400         |
| 普通作業員 | 17,900         | 19,200         |                 | 20,200         |
| 軽作業員  | 16,200         | 16,300         |                 | 17,100         |

2) 日給 (時間外含まない)

単位：円

| 職 種   | 想定設計単価 | 割増対象賃金<br>(基本給の割合) | 想定日給   | 中間値    |
|-------|--------|--------------------|--------|--------|
| 特殊作業員 | 24,400 | 0.769              | 18,763 |        |
|       |        |                    |        | 17,744 |
| 普通作業員 | 20,200 | 0.828              | 16,725 |        |
|       |        |                    |        | 15,639 |
| 軽作業員  | 17,100 | 0.851              | 14,552 |        |

3) 月給 (時間外含まない)

単位：円

| 職 種   | 想定日給   | 勤務日数 | 想定月給    | 中間値     |
|-------|--------|------|---------|---------|
| 特殊作業員 | 18,763 | 21   | 394,023 |         |
|       |        |      |         | 372,624 |
| 普通作業員 | 16,725 | 21   | 351,225 |         |
|       |        |      |         | 328,409 |
| 軽作業員  | 14,552 | 21   | 305,592 |         |

4) 年収 (時間外含まない、賞与含む)

単位：円

| 職 種   | 想定設計単価 | 勤務日数 | 月数 | 想定年収      | 中間値       |
|-------|--------|------|----|-----------|-----------|
| 特殊作業員 | 24,400 | 21   | 12 | 6,148,800 |           |
|       |        |      |    |           | 5,619,600 |
| 普通作業員 | 20,200 | 21   | 12 | 5,090,400 |           |
|       |        |      |    |           | 4,699,800 |
| 軽作業員  | 17,100 | 21   | 12 | 4,309,200 |           |